

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 施設工事担当課長	
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト			
事務事業名	風力発電施設の管理・運営			連絡先	052-654-7937	
				連携課	管理課、施設事務所	
目的	対象(誰・何を)	風力発電施設(2基1,700kW)			事業期間	平成16年度～
	意図(どういふ状態にしたいか)	保守点検を実施し、安定的な発電を行うことにより、温室効果ガス排出量の削減を図ります。				
概要	温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的に、再生可能エネルギーを活用した新舞子マリパーク風力発電設備を平成17年2月から運営しております。その発電設備の保守点検を行い、安定的な発電に努めていきます。				根拠法令等	
令和元年度の実施予定	適切な管理に努め、不良箇所を発見した場合は速やかに対応します。 なお、現在停止中の風力発電施設2号機の稼働を予定しています。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	不良箇所を発見した場合には速やかに対応しました。 また、故障により停止していた2号機の補修が完了し、稼働を再開しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,203	12,997	88,489	36,896	
人件費	千円	7,260	7,006	7,890	7,385	
合計	千円	16,463	20,003	96,379	44,282	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
風力発電施設の稼働率(%) (単年度管理型)	目標	100	100	100		100	稼働率算出においては、保守点検による停止時間は除きます。	
	実績	41.7	47.9	54.9				
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
	目標							
	実績							
事業進捗状況(元年度)								
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	2号機の故障停止により稼働率が低下しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	港湾管理者として、港湾における温室効果ガス排出削減に寄与する必要があります。また、地球温暖化対策として社会的なニーズも高いと考えております。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	施設を適切に管理し、稼働率を維持することは、上位施策である「良好な港湾環境の形成」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	△	成果については、2号機故障による停止により稼働率が低下し、期待どおりの成果が得られていません。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	施設を適正管理し、最小限のコストで成果をあげています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港湾における温室効果ガス排出削減に寄与するため。故障により停止していた2号機の補修が完了し、稼働を再開していることから成果・コストを維持とします。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題		2年度以降の取組	
今後も経年劣化による故障停止が起こる可能性があり、稼働率低下の懸念があります。		適切な管理に努め、不良箇所を発見した場合は、速やかに対応していきます。	